

## 令和4年度学校関係者評価委員会

1. 日 時 令和5年10月23日(月) 19:00  
場 所 函館歯科衛生士専門学校 会議室

2. 出席者 委員 高 見 浩 (函館歯科医師会 副会長)  
中 川 雅 永 (函館歯科医師会 理事・教務委員長)  
東 清 美 (北海道歯科衛生士会 函館支部長)  
椛 澤 里 佳 (なしき歯科医院 実習指導歯科衛生士)  
澤 谷 幸 絵 (函館歯科衛生士専門学校 同窓会会長)

学校 奥 ひろみ (函館歯科衛生士専門学校 校長)  
渡 邊 恵 里 (函館歯科衛生士専門学校 教務主任)  
永 橋 茜 (函館歯科衛生士専門学校 教務主任補佐)

### 3. 次 第

- (1) 令和4年度自己点検評価報告書の説明
  - Ⅲ. 教育活動
  - Ⅳ. 学修成果
  - Ⅴ. 学生支援
  - Ⅵ. 教育環境
  - Ⅶ. 学生募集
- (2) 質疑・応答
- (3) 評価・意見交換 (改善意見、助言等)

上記をⅢ～Ⅶの領域ごとに行う

## 令和4年度自己点検評価における領域ごとの学校関係者評価・意見

領域・項目	課 題	評 価 ・ 意 見
Ⅲ教育活動	1. 国家試験の受験勉強開始が遅く間に合わない例が増加。早期取組みを促す合格予測の資料を個別配布することについて。	1. 可視化は大切である。ただ逆にモチベーションが下がらないか心配。特に1年生。 3年生の成果重視だが、1,2年生に使用する際には学年に相応しい緩やかな文章にした方が良い。 厳しい学校イメージになればマイナスとなる。
Ⅳ学修成果	1. 就職者が函館から流出してしまう件について。	1. 臨床実習時には既に道外の就職と決めているとの話を聞く。函館市に魅力を感じていないようだ。 学生もリフレッシュできる場所を求めている。 何か学生が函館に留まるような策があれば良いが。
Ⅴ学生支援	1. 歯科医院の学生アルバイト求人について希望者が減少している現状について。	1. 歯科医院では短時間しか従事できないため、長時間でできるようなアルバイトを選択している様子がある。 また、入学前からのアルバイト先から変更するほどの『うま味』を感じていないのでは。 1年生に聞いたところ、興味はあるが不安がだと話していた。 アルバイト求人票を掲示する際に、その医院でのアルバイト業務内容を記載することで、学生の不安を解消できるようにすると良い。
Ⅵ教育環境	1. 情報処理の授業では、学生の習熟度の差が大きく苦慮していることについて。	1. PC授業ではどの程度までの習得が目標なのか。 歯科医院で必要なレセプトコンピューターへの入力ができれば良いのでWord程度で良いのでは？ 就職後に発表の機会があれば役立つか。 授業の到達度を下げること検討してはどうか。
Ⅶ学生募集	1. 入学生が減少していることについて。	1. 道内で歯科の職業体験に力を入れている所がある。 函館でも企業に頼らず、歯科業界で歯科衛生士を周知する活動が必要なのではないか。 歯科衛生士自体を知らない高校生が多いと思う。 近郊では健診クーポンが歯科医院で使用でき、フッ素塗布などの機会があるが、函館市では口腔保健センターがあるため委託事業を変更するのは難しい。 イベント開催には、函館市の子ども向けイベント情報に掲載すると良いのではないかと。